

地区だより

…………… 令和2年3月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,319人 女 20,759人
計 40,078人
世帯数：20,959世帯
(2月1日現在)

2020

3月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1

☎525-3710 ㊟536-9828

中央地区町会連合会新年会を開催しました



▲参加者の前であいさつをする引地洲夫連合会長

1月15日、エルティ ウェディング・パーティ エンポリウムで中央地区町会連合会主催の新年会を開催しました。

引地洲夫会長は、台風第19号による被害などを念頭に、住民自治組織としての役割を自覚することの重要性などを出席者に訴えました。

木幡浩市長からは、災害復旧の取り組み状況や、中央地区における今年の市の施策の説明と、中央地区のにぎわい創出に対する協力をいただきたいとの祝辞がありました。

その後、121人の参加者は意見交換を行い、中央地区の発展を祈念し、親睦を深めました。

■問／市民協働課 ☎525-3731

市民交通災害共済に加入しましょう

加入受け付け
3月1日から

交通災害共済に加入すると、交通事故に遭われた場合、病院で治療した実日数に応じて見舞金をお支払いします。万一の交通事故に備えて加入しましょう。

■年会費／1人500円

■申し込み／生活課、西口行政サービスコーナー、各支所・出張所
※中央地区内の町内会に加入促進の協力をお願いしています。

■共済期間／4月1日～令和3年3月31日

※4月1日以降に加入した場合の共済期間は加入日翌日からとなります。

令和2年度から制度が一部変更になります。

①入院実日数4日以上交通事故に対して見舞金を支給

②年度内の事故に対して原則1回の見舞金を支給

※年度内に、より高い等級の事故に遭われた場合は、再度の請求により差額を支給します。

■問／生活課 ☎525-3787

令和2年度ごみカレンダーを ご活用ください

中央地区町会連合会では、町内会などを通して市政だより3月号と併せ「令和2年度ごみカレンダー」を配布しますのでご活用ください。

■問／

「ごみカレンダー」について

市民協働課 ☎525-3731

「ごみの分別や出し方」について

ごみ減量推進課 ☎525-3744



令和2年 個人市・県民税申告のご案内

中央地区での市・県民税の申告受け付けについてお知らせします。

期 日	時 間	受け付け会場
3月12日(木)	午前9時30分～ 午後3時30分	アクティブシニアセンター・アオウゼ 大活動室(MAXふくしま4階)
3月13日(金)		
3月16日(月)		

■問／市民税課

☎525-3792

☎525-3712

※市内各地区の会場でも申告ができます。詳しくは、市政だより2月号P4～6または市ホームページをご覧ください。

※各会場、終了時刻の30分前までの来場にご協力をお願いします。

※所得税の確定申告書作成会場は「ウィル福島アクティおろしまち」(鎌田字卸町10-1)です。

確定申告に関する相談は、福島税務署☎534-3121へお問い合わせください(自動音声案内「0」番を選択)。

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ㊟533-7592

中央寿大学へのお誘い

◇60歳以上の方の講座です。

健康で生きがいのある、心豊かな毎日を送るために、バラエティーに富んだ内容を1年間(全15回)通して学びます。多くの皆様の受講をお待ちしております。

☆対象 象：中央地区在住の60歳以上の方

☆開設 期間：4月24日(金)～開講式>～翌年3月5日(金)(月に1～2回、主に金曜日の午後1時30分～3時に開催)

☆内容(実績)：健康講座・教養講座・鑑賞講座・なつメロ・移動学習等

○今年度の開講記念講演は、医大疫学講座主任の大平哲也先生の「笑いと健康」です。

☆資 料 代：1人1,500円(年間)、夫婦1組(2人で)2,000円(年間)

☆申 込 方 法：各老人クラブを通じて、又は個人で申込用紙に記入し、上記の資料代を添えて4月6日(月)までに中央学習センター窓口へお申し込みください。

※「個人の申し込み用紙」は中央学習センターにあります。



ヤングカレッジ中央活動報告

若者が自分達で講座を企画し、毎週木曜日の夜に活動しました。昨年6月に開講し、約40名の受講生同士が様々な活動をとおりて絆を深めました！



サマーキャンプ みんなでバスケットボール！



ジェルキャンドルづくり ふわとろオムライス

～令和2年度募集のお知らせ～

6月から開講予定です。また、4・5月には開講に先立ってお試講講座を行う予定です。詳細は今後地区だよりやホームページにてお知らせしますので、ぜひご覧ください！

中央女性アカデミー活動報告

「新しいことをやってみよう！学ばない！」という女性のための講座です。4月から1～2回程度、約1年間にわたり「学びたい」女性同士が集まって、興味があること・生活に役立つことなどを学びました。



ボッチャに挑戦 (月曜日コース)



スイス料理に挑戦 (金曜日コース)

～令和2年度募集のお知らせ～

4月から募集し開講します。詳しくは4月号地区だよりやホームページにてお知らせいたしますので、ご覧ください。ぜひ、一緒に学びましょう！お待ちしております。

中央こどもクラブ 活動報告

今年度は、中央地区の街歩きや学習センターでのお泊まり体験、テレビ局見学、クリスマス会などの楽しい企画をとおりて、お友だちとたくさん思い出を作りました！

令和2年度も6月から開講予定です。学校ではできないワクワクな活動がいっぱい！お友だちと1年間楽しく活動しよう！

※小学校をとおりてチラシを配布します。

詳しい内容や申込み方法についてはそちらをご覧ください。



ハーバリウム作り



竹の水鉄砲遊び



第70回 第二地区の子育てひろば

子どもといっしょにのびのび遊び、地域の人たちとふれあい、楽しい時間を過ごしましょう！お茶のおもてなしもあります。

○日 時 3月10日(火) 午前10時～11時

○会 場 中央学習センター 1階和室

○対 象 第二地区にお住まいのお子さん(0歳～4歳)とその保護者

○その他 申し込みは必要ありませんので、お気軽に時間までお越しください。

○主 催 福島市社会福祉協議会第二地区協議会 子育て支援部

○連絡先 中央和代子 ☎534-2231
三瓶さゆり ☎534-8273

歴史コラム『これを学んで福島通になろう』

郷土史家 江代正一氏

第9回「杉ノ目館及び福島城の風水」

福島城及び杉ノ目館の風水の位置を調べると、東西南北の神社及び寺の位置がバラバラになっている。風水上の線になっていないのである。

それは、城の中心(主郭)が阿武隈川の流路が変化したことにより、3回移動していることが原因である。

(地図①)杉ノ目館(大仙城)は、平安時代末期～鎌倉時代にかけて、現在の県庁西庁舎の西側にあるそば屋「喜多八」さんの南側に中心があった。その北側の延長線上に曾根田の天神神社があった。700年以上たった今、その北側の位置より西側に10°ずれているが、それは歳差運動(天文学)により、70年に1°ほど西側に地軸が移動したためである。風水において、北は、北極星という動かない星として宇宙の気が北から入ることから、杉ノ目館にとって重要な位置に祠が祀られていた。杉ノ目館の北東(艮)方向(鬼門)の延長線上には真福寺が上杉時代まであった。さらにその線上に杉ノ目稲荷神社(杉ノ目の産土神が祀っており、最も古い杉ノ目の里の神社で、現在の紅葉山公園内にある)がある。

(地図②)杉ノ目館が、現在の阿武隈川内の位置に移動した。阿武隈川は今から750年前(南北朝時代以前)は、弁天山の山裾を流れていた。当時の杉ノ目館は200m四方の広さだったが、阿武隈川の流路が変わったことにより消失してしまっている。この館の位置から北東(艮)方向の延長線上には、舟場町に出征稲荷があった。館の北側には、真福寺、福島稲荷神社、さらに北側には、信夫山薬王寺が一線に連なる。

(地図③)福島城主郭の北側の延長線上には真福寺⇒福島稲荷神社⇒信夫山薬王寺があり、北東(艮)方向には、腰ノ浜神明神社⇒腰ノ浜稲荷神社がある。このようにして福島は風水に守られている。

中でも、杉ノ目地区において、風水最高な土地は、福島稲荷神社ということになる。北を信夫山に守られ、南は阿武隈川の大河があり、東は阿武隈川の河岸段丘、西は旧松川、主郭の南方には黒岩の満願寺と主郭の南西(裏鬼門)には常光寺があるからである。

